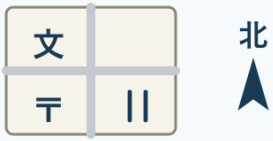
地図の学びのつながり（小3から小6へ）

小3から小6まで、地図を読む力はどう広がるのかな。前に学んだことは次のどこで使えるのかな

矢印：前の学年の力を、次の地図を読むときに使う

- 位置を言う力（方位→八方位→緯度・経度→国の位置）
- 地図の約束を読む力（記号→色→広がり→歴史の地図）



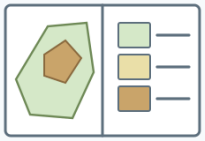
北

小3 市の地図・地図帳

四方位で向きを言う
方位記号で北を確かめ、向きを言葉で言う

地図記号を読む
学校・田・工場などを記号で読み取る

市役所はどこ？
学校から見て、北の方にあるよ。



北

小4 地図帳の県と日本の地図

八方位で位置を言う
小3の四方位に、ななめの4つを足して県の位置を言う

記号と色で土地を読む
小3の記号に、高さの色や産業の広がりを足して読む

わたしたちの県はどこ？
日本の中で、北東の方にあるよ（例）。



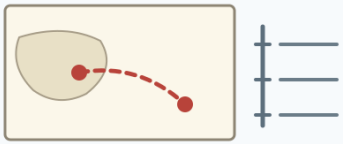
緯線
経線
地球儀

小5 地球儀・世界地図

緯度・経度で位置を言う
方位に加えて、地球の上の位置を数で表す

広がり（分布）を読む
記号や色から、産地や工業のさかんな地域を見つける

日本はどこ？
北半球の、ユーラシア大陸の東の方にあるよ。



小6 世界地図・歴史の地図

国の位置を確かめる
方位や緯度・経度を使い、日本との位置関係を言う

歴史の地図を読む
分布を読む力で、出来事の場所や経路をたどる

つながりの深い国はどこ？
地球儀で見ると、日本から南の方にあるよ（例）。

地図帳は小3から小6まで、毎年使う

- 吹き出しは、同じ「どこにあるの？」の答え方の変わり方の例。
- 前に身に付けた力は、新しい地図を読む手がかりになる。
- 47都道府県と世界の大陸・海洋は、卒業までに身に付ける。

※ 学年と内容の対応は学習指導要領解説による。絵は記号の模式で、実在の地図ではない。吹き出しの答えは例。